

令和6年度 学校図書館県内研修会 研修活動報告書

1. 研修目標 司書・司書教諭及び図書館関係教職員の交流を深め、県内外の研修や相互の情報交換を通して、読書活動の推進はもとより、今日求められている情報センターとしての役割など学校図書館の充実について広く研究・協議する。
2. 日 時 令和6年8月2日（金）
3. 会 場 グランシップ静岡
〒422-8019 静岡県静岡市駿河区東静岡2-3-1
Tel 054-203-5710（代表）
4. 参加人数 18人（内 専門委員 5名）
5. 日 程 本年度の県内研修会は、第6回私学ビブリオバトル交流会と同時に開催された。
なお研修会参加者は、ビブリオバトルを観戦した上で講演会を聴講した。

～午前～

- ・開会あいさつ 飯田瑞穂 部会長（桐陽高等学校長）
- ・ビブリオバトル予選（参加生徒 13名 運営ボランティア生徒 25名）

～昼食・情報交換～

～午後～

- ・本選（講師見学）
- ・講演「目指すべきビブリオバトルとは？」
講師 皇學館大学 准教授
ビブリオバトル普及委員会アドバイザー 岡野裕行 様

6. 研修内容 本年度の県内研修会は、第6回私学ビブリオバトル交流会と同時に開催された。
なお研修会参加者は、ビブリオバトルを観戦した上で講演会を聴講した。

<ご講演の概要>

(1) ビブリオバトルとは

- ✓ みんなでおすすめの本を紹介し合うコミュニケーションゲームのこと。知的書評合戦とも呼ばれる。
 - ✓ キャッチコピー：「人を通して本を知る/本を通して人を知る」
 - ✓ 4つの機能 ①参加者で本の内容を共有できる。 ②スピーチの訓練になる。
③いい本が見つかる。 ④お互いの理解が深まる。
- 読書体験を言語化する訓練の場 他者とのコミュニケーションの起点
本を話題の中心に据えた多様な価値観が交差するコミュニティ創出の場
- ✓ 開催形態も例えば妖怪ビブリオバトルや、着物好きによるビブリオバトル、山頂での青空ビブリオバトルなど多岐にわたる。

(2) 本・読書について

- ✓ 本は単なる冊子にとどまらず、読者の考えを読者に伝えるメディアの役割をはじめ、人との関係性、多様な価値観の象徴という一面がある。
- ✓ 「書物が移動する」という考えは、読者と書物が新たな関係を持ち・失う契機でもあり、読者の歴史を考える上で大きな意味がある。書物が読者に辿り着き、理解され、その情報をもとに何かしらの方法で他者に伝えるプロセスが読者形成のなかで営まれている。

(3) 読書体験の共有がもたらすもの

A 未知の本から既知の本へ

- ✓ 読書について、読書義務・通読義務があるとされるが、ある本に関して全く知らなくてもそのことについて議論することができる。

B 本について語るということ

- ✓ 読者は本を読みはじめる前から本について語り始めている。
- ✓ 著者でなくても本について語ることは創作活動に関わっていると考えられる。
- ✓ 本について語ることは、その人の内面世界を構築し、他者と共有する手段。
- ✓ 本は出会いの産物であり、対話の中で意味を持つ。

C 教育における意義

- ✓ 読んでいない本について語る方法を学ぶ = 創造の第一歩
- ✓ 本の内容の理解が仮に不十分でも、何かしら本について語る（言語活動）から、自身のアウトプット・創造性を養う。
- ✓ 読書は一方的な知識の受け取りではなく、再創造の営み。
- ✓ 「知らないことについても語れる」能力は、実社会でも重要なスキルとなる。
- ✓ 言葉にすることで、読書体験が「共有」や「発見」に繋がる。

D 本について語ることの4つの意義

- ①以下に自分の本の読みを言葉にするか。 ②いかに人と人との関係を結ぶか。
- ③本や人との出会いを創出するか。 ④みんなが楽しめる空間をつくりだすか。

→ 図書館という空間でこれらを実現する。

以上のことをビブリオバトルという視点から捉えると…

- ①読書体験の分かち合いができる。 ②誰もが5分間だけ「本」（自分語り）になれる。
- ③誰もが誰かと共に3分間だけ「本」（対話）になれる。

→ 自身の読書体験を通して自分自身を語る仕組みである。各々の読書体験をもとに展開されるため、発表者が話す内容に正解は存在しない。（読書体験のおすそ分け）

<参加された先生方からのご意見>

・参考になった点

- ✓ ビブリオバトルの運営全般を見ることができたこと。
- ✓ 岡野先生の講評やご講演によって、ビブリオバトルの狙いが理解できたこと。
ビブリオバトルの正しい実施方法や生徒の関わり方(発表、質問、ボランティアなど)など。
- ✓ ビブリオバトルについての成り立ちや、そもそも読書とは何かという日頃知ることのない知識を得ることができた。

・今後の学校図書館研修会について

- ✓ これからの学校図書館の方向性と現実について知りたい。
- ✓ 各学校の図書室や図書委員会での活動例などを知りたい。
- ✓ ビブリオバトルの理解と実践活動を広めていくための、教員向け研修会の実施。